

【第46回滋賀県立琵琶湖博物館特別研究セミナー】

琵琶湖のエリ漁業は魚の習性や湖水の流れを巧みに利用した伝統漁法です。エリには古来より風や流れと豊漁・不漁にまつわる伝承事項が多数存在しています。そこで琵琶湖博物館の総合研究「東アジアの中の琵琶湖—コイ科魚類の展開を軸とした—環境史に関する研究」では、近畿大学農学部水産学科漁業生産システム研究室と共同で、なぜエリで魚がとれるのかを明らかにするために、コイ・フナの追跡調査、アユの行動実験、コンピュータシミュレーションによるエリまわりの流れ状況を調査しています。本セミナーでは、エリに魚が入るしくみについて、これまでに得られた結果と伝承事項を、琵琶湖・魚・人（技術）をキーワードに、融合させて考えることを試みます。

日時

2007年1月27日(土)
10:00~12:30

会場

琵琶湖博物館会議室

プログラム

- 10:00 あいさつ (中島経夫・滋賀県立琵琶湖博物館・研究代表者)
10:05 米山 和良 (北海道大学大学院水産科学院)
松田 征也 (滋賀県立琵琶湖博物館)
「琵琶湖のコイ・フナを追う」
10:35 福田 漢生 (近畿大学大学院農学研究科)
「アユの行動—流れと水温の影響—」
11:05 休憩(5分)
11:10 妹尾 真也 (近畿大学大学院農学研究科)
「エリまわりの流れをみる」
11:40 山根 猛 (近畿大学大学院農学研究科)
鶴飼広之 (大津漁業協同組合)
「湖にやさしい伝統漁法」
12:10~12:30 全体質疑・討論

魚はエリに入るのか？

Part

II

主催：滋賀県立琵琶湖博物館・総合研究プロジェクト「東アジアの中の琵琶湖—コイ科魚類の展開を軸とした—環境史に関する研究」

協賛：琵琶湖漁業を考える会

【お問合わせ】

滋賀県立琵琶湖博物館 特別研究セミナー係 TEL. 077-568-4811(代表)